

私の紙面批評

弁護士
清源 万里子

東京医科大の不正入試問題で、内部調査委員会が記者会見して太学への報告書の内容を公表した。その内容を本紙は8日付朝刊で詳報。大学が女子受験生を減らした理由について、報告書は結婚や出産を踏まえ、「年齢を重ねるとアクティビティ（活動）が下がる」という考え方があったと指摘したことなどが書かれていた。

東京医科大の不正入試問題で、内部調査委員会が記者会見して太学への報告書の内容を公表した。その内容を本紙は8日付朝刊で詳報。大学が女子受験生を減らした理由について、報告書は結婚や出産を踏まえ、「年齢を重ねるとアクティビティ（活動）が下がる」という考え方があったと指摘したことなどが書かれていた。

東京医科大の不正入試問題で、内部調査委員会が記者会見して太学への報告書の内容を公表した。その内容を本紙は8日付朝刊で詳報。大学が女子受験生を減らした理由について、報告書は結婚や出産を踏まえ、「年齢を重ねるとアクティビティ（活動）が下がる」という考え方があったと指摘したことなどが書かれていた。

子育て支援一層充実を



（きよもじ・まりこ）1981年、中津市生まれ。2008年弁護士登録。11年大分県弁護士会入会。日本弁護士連合会・犯罪被害者支援委員会委員。現在子育て真っ最中。

したことも紹介していた。学校や地域との連携がさらに進んで、クラブの運営に関する不安や課題が改善され、子育て支援が一層充実することを願つて

したことも紹介していた。学校や地域との連携がさらに進んで、クラブの運営に関する不安や課題が改善され、子育て支援が一層充実することを願つて

た。これは女性の活躍を妨げるものであり、憤りを感じた方は多いだろう。総務省の労働力調査などによると、15～64歳の女性の就業率は2007年は59・5%だったが、17年には67・4%へ上昇している。しかし、長時間労働を前提とした労働慣行などが依然として根強いという現実がある。仕事と生活の両立が

できずに就業の継続やキャリアアップを諦める女性も多く、約6割が第1子の出産を機に離職している。一方、育児や介護などの理由で今は働いてはいないものの、就業を希望している女性は260万人余りに上り、性別による差はない。女性が職業面で活躍できるよう推進するには、制度的な後押しが必要だ。1日付夕刊のコラム「キ

は一目瞭然だった。

予算管理や定員調整、専門資格を持つ支援員の確保など、実質的な運営は保護者や支援員が担い、「負担が大きい」という声が現場で今は働いてはいないもの、就業を希望している女性は260万人余りに上り、性別による差はない。女性が職業面で活躍できるよう推進するには、制度的な後押しが必要だ。自指し、中津市に放課後児童クラブ連絡協議会が発足